

## 認定NPO法人アンケート

法人名: NPO 法人 TSUBASA

Q 活動している主な事業について教えてください。

- ・様々な理由から飼い主さんと一緒に暮らすことができなくなったインコ・オウム・フィンチを保護し、新たな里親さんを探す活動を行っています。
- ・飼い主さんと愛鳥さんが終生、幸せに健康に暮らしてもらうために、飼い鳥の適正な飼養に関する情報の提供、学びの場を日本全国で展開しています。

Q 認定を取得しようと思った理由を教えてください。

- ・NPO 法人として支援者様が安心信頼して支援できる法人であることを示す一助になると考えたから。
- ・寄付者の方が税の優遇措置を受けられることは、日頃私たちをご支援してくださる方たちに少しでも恩返しになるのではと考えたから。

Q 認定取得までに苦労された点やエピソードをお聞かせください。

- ・従業員数は今よりもずっと少なく、全員が飼育員であり、事務方の専門職は不在でした。手続きに関する書類も私たちからすると読解に苦労する内容でありましたし、くわえて、寄付者様やボランティア様が私たち団体の規模のわりに人数が多く、それらのデータベースを作り上げるところから行う必要がありました。こういった作業を、本来の活動に加えて行わなくてはならなかったことが一番の苦労です。(生体(インコ、オウム、文鳥などの飼い鳥)を相手にしていますので、日常の作業を休ませることはできません)
- ・また認定制度自体が改正されて間もなくで、アドバイザーによって見解が異なっていたりで、翻弄されることもありました。

Q 認定を取得されたことで何か変化はありましたか。

- ・寄付者の方が税制上の優遇措置をとれるようになったこと。活動を適正に継続するという以外に、直接的に支援者様にお返しができる一面だと思えます。
- ・NPO って何？と感じられる人たちも少なからずいると思う中で、信頼できそうだな、と感じていただけるきっかけになっていると思います。

Q 多くの方から寄付を集めるためにどんな工夫をされていますか。

- ・TSUBASA という団体の存在をまずは知っていただくために、ブログ等での情報発信、愛鳥祭等のイベントの開催
- ・飼い鳥の適正な飼養に関する情報の提供、学びの場として、セミナーの全国展開
- ・日々ボランティア様を受け入れ、実際に活動の内容を目の当たりにしていただくことで、

信頼性を高めていただく。

Q これから認定等を取得したいと思っておられる NPO 法人へのアドバイスをお願いします。

認定NPO法人を取得するときも、県の担当者の方にご質問やご相談を頻繁にさせていただきました。そのおかげで申請書類等を作成することができました。

ただ重要なことは「認定を取得して何をするのか」という目標や目的そしてビジョンを明確に描くことが重要だと思います。

これらの想いをNPO法人のときに、会員様や多くの人たちに伝えていけたら、認定に必要な条件もクリアできるのではないかと思います。

そして認定を取得した暁には、会員様や支援者の皆様と一緒に、社会的な使命を達成するための活動ができると信じています。

(記入日:令和2年2月26日)